

# 花を育て、思いやりを地域へ



七飯町地域センター前



花苗寄贈



生徒さん作業風景



生徒さん作業風景



大沼公園駅前

# 社協 ニュース

No. 58

発行/  
平成25年7月1日  
編集/  
七飯町社会福祉協議会  
七飯町本町4丁目8-1  
七飯町地域センター内  
TEL 65-2067

ホームページ  
<http://www.nanae-shakyo.com/>

## 社協へ思いやりの花苗 大沼学園より花苗をたくさん頂きました

花を育てる作業を通して、人を思いやる心を育む教育活動として大沼学園（水上和俊園長）では花の苗作りが伝統的に行われています。

水上園長のお話では、今年は三月一日からハウスで育苗を始め18,000株を育てました。

花はデリケートで温度や水やりの管理など大変難しく、生徒や先生方が苦労しながら一生懸命育てています。このように苦労して作られた花苗は、大沼親交会（会長勝田好太郎）をはじめ、大沼公園周辺や学校・役場・公共施設などに寄贈し、地植えやプランターなどに植えられ、今では

地域住民の心の癒しに役立っています。また、生徒の自立支援の職場実習先企業などにも配布していると話していただきました。

また、齊藤福祉専門員から、



大沼学園：水上園長



齊藤福祉専門員

花苗を寄贈するときに生徒が学園以外の方と交流の機会が持て、相手から感謝と喜びの言葉をかけられたときには、生徒はとても明るい笑顔となり、より一層責任を持つて作業しています。

本来、学業が生徒の日課ですが、地域の人に喜んでほしい中一生懸命取り組んでいます。と話していただきました。

今回、七飯町社会福祉協議会にたくさんのお花苗を頂きました。

生徒のみなさん本当にありがとうございます。

この花苗は地域センターの家庭に植えさせていただき、大切に育てたいと思います。町民の皆様、お近くにいらしたときは是非お立ち寄りください。

平成24年度 事業報告

平成24年度は「七飯町要援護者支え合い事業」を中心に、町内会、行政をはじめ各種関係機関と連携を図り「安心・安全・住みよいまちづくり」をめざし、地域福祉の理念の共有と普及・定着に努めました。

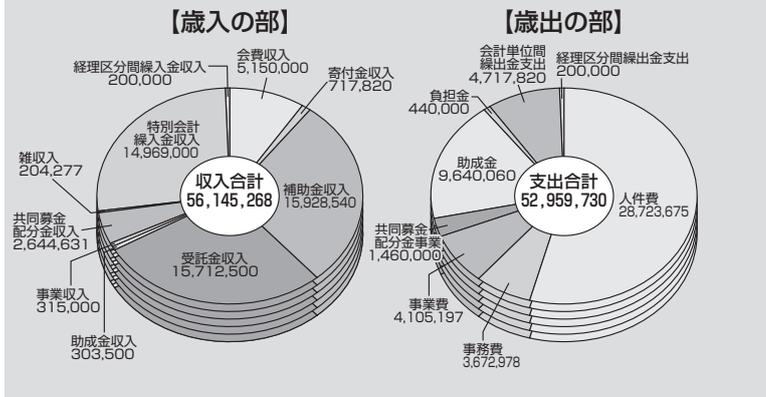
特に、24年度は、職員が数多く地域に出向き「任天堂ゲーム機Wii」認知症予防プログラム「ふまねっと」の紹介や体験を交えながら社協事業のPRに重点を置き、「何かあったら社協へ相談しよう」と思っていただけのような活動を展開してまいりました。

独自事業では平成16年7月から、社協車輛「なかよし号」を地域の皆さまへ貸し出し、より良い活用のため利用者の方々の声を生かし、随時運行委員会にて対応してきました。福祉機器貸し出し事業では、電動ベッド20台、車イス47台、チャイルドシート68台等となっており、高齢者ばかりではなく、若い世代への支援にも努めました。

平成24年度 七飯町社会福祉協議会一般会計収支決算

歳入については、皆様からいただいた会員会費や共同募金配分金、寄付金と、補助金、受託金、助成金、特別会計繰入金等であり、収入の部合計56,145,268円となっております。

歳出では、人件費、事務費、事業費、助成金、特別会計繰出金等で52,959,730円となっており、経常活動資金収支差額が3,185,538円となっております。

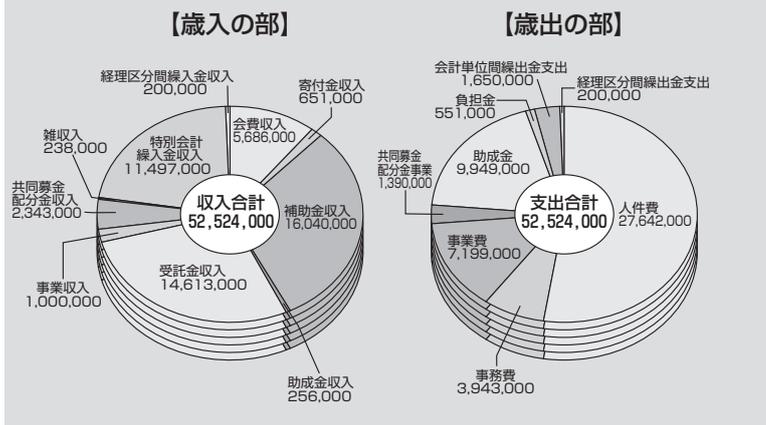


町の委託事業「外出支援サービス事業」は319名の利用があり、細心の注意をはらい業務にあたりました。「生きがい活動通所支援事業」は要介護・要支援状態にならないよう、日常生活関連動作訓練やストレッチ体操等をメニューに取り入れ、健康維持・増進に努めました。社会福祉協議会は、様々な活動を通して福祉理念の共有と普及、定着化を図るため各種事業を展開してまいりました。

急速にすすむ少子高齢社会の進展や人口の減少並びに住民生活の多様化等を背景に、家族機能の低下、地域の希薄化、雇用問題、孤独死、災害時支援など、様々な生活課題が顕在化かつ深刻化しております。また、長引く景気低迷に加え、地震等による災害は住民の暮らしに深刻な生活不安を与えています。このような状況の中、社会福祉協議会の果たす役割は益々重要となっております。

平成25年度 七飯町社会福祉協議会一般会計収支予算

歳入歳出予算は、52,524,000円で、昨年度と比較しますと約1,000,000円の減額で、受託金収入が減っております。限られた財源の中で、経費削減を徹底し事業を展開いたします。



向性を探るため、これまで以上に会員会費さらには赤い羽根共同募金などを充実させ、財政基盤の安定、強化に努めながら住民主体の地域福祉活動の推進と、援護を必要とする方々への適切な支援活動を通じて「信頼される七飯社協」をめざし、地域の福祉サービス水準の向上につながる社協ならではの事業展開をめざします。

平成25年度 事業計画

「信頼と期待に応える社協に」



七飯町社会福祉協議会  
会長 大竹幸次郎

この度の役員改選に伴い、理事の皆様方のご推挙とご賛同を賜り、7期目となる会長の職を拝命いたしました。

もとより微力ではございますが、これまでの経験を踏まえ、地域の皆さまの信頼と期待に応えられるよう地域の声に耳を傾け、役員一丸となって地域福祉の推進に努めて参りますので、皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

理事・評議員のご紹介

平成25年3月22日の理事会、評議員会において任期満了に伴う役員改選が行われ、次期役員が選出されました。

【任期/平成25年4月13日から平成27年4月12日まで】

■理事

会長  
副会長  
副会長  
理事

大竹幸次郎  
干山誠一  
奥寺文隆  
大竹幸次郎  
伊藤茂  
財津千恵子  
伊藤茂  
古木節子

社会福祉協議会の  
福祉サービスに関して  
お困りの事は  
ありませんか？

七飯町社会福祉協議会第三者委員  
堀田 市雄(本町) ☎65-8255  
小島 威(本町) ☎65-6532

■評議員

関川俊逸  
天満哲雄  
勢田康子  
寺田典子  
丹野義雄  
工藤久恵  
若狭勇  
松本道信  
森洋子  
小森茂雄  
斉藤茂雄  
川上利一  
堀井しのぶ

■監事

柴田晴光  
北見辰雄  
北見辰雄  
服部満雄  
堀田威雄

道町連共済  
30周年記念特別感謝



5月28日札幌市で開催された道町連共済30周年記念平成25年度全道町内会活動研究大会において、七飯町町内会連合会は、町内会活動中の事故について見舞金を支給する「道町連共済」に、毎年安定した加入促進があることから、共済事業加入促進組織特別感謝として感謝状をいただきました。

(昨年度39町内会、約1,300名加入)

老人クラブ連合会  
渡島地方共募より表彰



5月24日、七飯町老人クラブ連合会（会長北見辰雄）は永年にわたり、共同募金奉仕団体として、街頭募金啓発活動やチャリティイベント等、積極的に共同募金運動に協力した功績により渡島地方共同募金委員会（会長大竹幸次郎）より表彰されました。

北見会長からは、これを励みに、今後も地域のために協力していきたいと、おっしゃっていました。

# 平成25年度社協会員加入のお願い

社会福祉協議会は、町内会活動を応援し、また、町内の高齢者や障がい者等の方が住みやすい町をつくるために日々活動を行っています。

バス停などに置かれていたふれあいパンチの管理、ごみステーションへの看板の作成等のほか、会員の方々には、命のバトン(救急医療情報キット)の配布、ワゴン車の貸出し、電動ベッドや車いす、チャイルドシートなど福祉用具の貸出、綿あめ器などお楽しみ用具の貸出を無料で行っております。

また地域を支える町内会、民生委員・児童委員、老人クラブ等が協力し合って活動できるよう、応援をしています。

町内会を通して集めていただいた社協会員会費は、その4割を再び町内会へ補助金として配布し、各町内会での福祉活動のために使われています。

このような活動をご理解いただき、会員への加入をよろしくお願いたします。

社協会員会費は、地域の福祉に役立つ、貴重な財源となっています。

- ・個人会員 1,000円
- ・個別会員 2,000円
- ・特別会員 3,000円
- ・団体会員 5,000円

平成24年度、会員会費を納めていただいた町内会と団体(企業)等をご紹介します。

## 町内会紹介

鳴川協和町内会	鳴川中央町内会
公宮桜団地町内会	飯田町第一町内会
南本町第一町内会	光陽団地町内会
藤城町内会	本町高台町内会
本町三百睡会町内会	桜町第一町内会
本町寿町内会	アカシヤ町内会
正覚寺通り町内会	松の木町内会
本町和町内会	豊田町内会
本町中央町内会	高見町内会
峠下連合町内会	上大山町内会
鳴川高台団地町内会	中島町内会
本町西部町内会	にんく沢町内会
七飯町中央親交会	大川美園町内会
本町上台町内会	湯出川町内会
本町上台団地町内会	湯出川団地町内会
本町下通り町内会	上湯出川町内会
鶴野町内会	松並町内会
本町駅前町内会	中野町内会
桜町第二町内会	大中山中央町内会
桜町第三町内会	大川十字街町内会
仲よし町内会	東大川町内会
南本町町内会	北大川町内会
本町町内会	武佐川町内会
緑町町内会	西大沼町内会
桜団地町内会	大沼第一町内会
南藤城町内会	大沼公園親和会
西部鳴川町内会	吉野山町内会
見晴町内会	大沼親交会
本町中通り町内会	軍川親交連合会
上藤城町内会	川尻親交会
桜町第四町内会	東大沼町内会
藤城北町内会	太陽実行組合
青葉台町内会	

## 団体紹介

アーケ大隅(株)	鳴川中央町内会
明林寺(株)	飯田町第一町内会
あかまつ調剤薬局(株)	光陽団地町内会
因立青会 なるかわ病院(株)	本町高台町内会
一般社団法人 花かき福祉会(株)	桜町第一町内会
ウエルネス薬局七飯店(株)	アカシヤ町内会
カワマツビルド(株)	松の木町内会
カウテック製作所(株)	豊田町内会
くどう眼科クリニック(株)	高見町内会
ケアハウス豊寿(株)	上大山町内会
松栄建設(株)	中島町内会
昭和寺(株)	にんく沢町内会
新函館農業協同組合七飯支店(株)	大川美園町内会
杉山農場(株)	湯出川町内会
すこやか調剤薬局(株)	湯出川団地町内会
聖樹の杜(株)	湯出川町内会
セブンイレブン渡島七飯店(株)	上湯出川町内会
創価学会(株)	松並町内会
大信寺(株)	中野町内会
ただ調剤薬局(株)	大中山中央町内会
つば八ななえ店(株)	大川十字街町内会
中水食品工業(株)	東大川町内会
七飯アサ生コンクリート(株)	北大川町内会
七飯町商工会(株)	武佐川町内会
七飯パークゴルフ協会(株)	西大沼町内会
七飯福音キリスト教会(株)	大沼第一町内会
七飯訪問治療所(株)	大沼公園親和会
七飯レクリエーション協会(株)	吉野山町内会
野畔の花(株)	大沼親交会
ハーモニーハイツ ななえ(株)	軍川親交連合会
函館信用金庫七飯支店(株)	川尻親交会
函館脳神経外科七飯クリニック(株)	東大沼町内会
北海道南福祉ねっと(株)	北大川町内会
北海道旅客鉄道(株)七飯駅(株)	武佐川町内会
湊商事(株)七飯給油所(株)	西大沼町内会
マツタカハ(株)北海道布館(株)	大沼第一町内会
マルセツ工業(株)	大沼公園親和会
シストラン(株)	吉野山町内会
若松毛皮(株)	大沼親交会
石岡工業(株)	軍川親交連合会
㈱グリーンオオモリ(株)	川尻親交会
㈱工房 蕎麦小屋(株)	東大沼町内会
	太陽実行組合

## 特別会員紹介

かねたか歯科医院	髙嶺公樹・齋藤フミナ
かみむら	みよしマサルクリニック
佐藤歯科クリニック	民宿藤屋
たかはし皮膚科クリニック	向井クリニック
鍋谷歯科クリニック	宮村内科医院
はるこどもクリニック	三嶋神社
ひよこクリニック	松倉整形外科クリニック
福島神経クリニック	美村獣医医院
ホーム薬局	大村和久
丸山内科医院	敬称略

登録者数 1,114名突破

# 命のバトン

(救急医療情報キット)

いざという時のために



命のバトン(病気、連絡先、薬などを記入した用紙を冷蔵庫に保管し、救急搬送に備えるためのプラスチックの筒)は、6月17日現在で、114名の登録を記録しました。

七飯消防からは実際に、80代独居の女性宅で、命のバトンを使用した事例の報告がありました。

このように消防と連携を取りながら、素早く、的確な情報を伝えられるのが「命のバトン」です。

病状の変化に伴い、病名や薬が変わりましたら、バトンの中身も新しくする必要があります。利用している方はご留意ください。

また七飯消防では、いざという時のために、心臓マッサージ、AEDの使用法などの救命講習を開いています。詳細は七飯消防まで(TEL 6512244)

※「命のバトン」は社協会員会費で作られています。ご希望の方には無料で配布しております。

各団体が活発に活動しています

# 七飯町町内会連合会 まちづくり活動研修大会

平成25年2月21日木曜日、文化センタースターホールにて多くの参加者を得て盛会裡におこなわれました。



講師 湯浅 弥氏

福祉活動の変遷を振り返り、地域に求められる福祉活動についてのお話などを伺いました。

町内会活動の実践報告では大沼親交会の勝田好太郎会長が登壇し、「防災と福祉の融合をめざして」と題し、発表をさせていただきました。

特に駒ヶ岳を抱える町内会として、平成18年に自主防災組織を立ち上げ、緊急時連絡基準、緊急連絡網、防災規約を整備し、毎年防

特定非営

利法人小呂野ゆあさ社会福祉事務所代表の湯浅弥氏を講師に招き、地域に求められる



大勢の方が参加しました

は、「会員の把握、コミュニケーションが最も大切であり、日常的に目配り、声掛けをすることで、要援護者を見落とすことなく、安心して暮らすことができる。これは、大沼親交会の伝統であり、絶やすことなく、今後も様々な活動を継続したい」と締めくくり、参加された方はみな熱心に耳を傾けており、活発に質問をされてきました。



大沼親交会 勝田好太郎会長

る救命講習、婦人部による炊き出し訓練も併せて行っていると説明。最後に、防災と福祉の融合をめざしたまちづくりの達成については、「会員の把握、コミュニケーションが最も大切であり、日常的に目配り、声掛けを

災害難訓

練を行っており、その際、噴火や震災等のDVDの放映や消防署員による

## D・I・G(ディグ)体験会

〜ディグってなあに?〜

平成25年5月20日(月)13時、七飯町文化センター 201会議室



「災害には2種類存在します。講師の池田誠さんはボランティアさんティアさん達に語りかけました。1つは交通事故や殺傷事件などの人が原因とする人為的災害と、もう1つは地震や津波などの自然災害があり、今回は自然災害時、私達がどのように行動すればいいのかをグループごと話し合いました。

講師の池田誠さんは函館の北海道国際交流センターの事務局長を務め、国内外の震災の支援も行っており、プロジェクトを通して目の前で見たことや体験してきたことを話してくれました。

そして、集まったボランティアさんに「地震が発生しました。あなたは地震直後に何をしますか?」その言葉が今回のメインでもあるDisaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)通称ディグの始まりでした。「2つだけ避難所に持つていくものは?」「災害が起こった時の為に事前準備はしていますか?」と問いかけ、グループごとに話し合い、発表して様々な意見が出て、感嘆の声や笑い声がある充実したグループワークとなりました。中でも、怪我をした人をどのような順番で連れて行くかなど、なかなか決断しにくいテーマもありました。大きな地図に病院やお店をチエックし、要支援者の方はどのように誘導すれば効率が良いのかを話し合いで決めました。



池田さんはもし、災害にあった場合に国等公共の助けをあてにするのではなく、自分の命は自分で守り、徐々に周りや地域の人たちとともに復興していくことが大事だとおっしゃいました。

日頃から防災意識を高めておき、被災しても避難してきた皆さん方を的確に誘導・案内できるように心がけていきたいと思いました。

● ボランティア研修会 2013 ●



# 地域要援護者支え合い事業

町からの委託事業として平成21年度から始

まった当事業ですが、一昨年度は、46町内会、昨年度(24年度)は、48町内会からの実績報告がありました。

昨年度、特に多い申請は、ふれあいサロン・軽スポーツ・世代交流の申請が増え、ほか福祉活動の中の除雪活動では36町内会から、195件あり、前年以上の実績となっておりま。

各町内会の活動内容の一部を紹介いたします。

## 見守り活動

＊友達訪問活動～28町内会が申請。

一例～「ティッシュを持って二人一組で要援護者宅を訪問して玄関にて近況をきいています。」

＊ひとり暮らしの高齢者の安否確認運動。～32町内会が申請。

一例～「郵便物や新聞等が溜まったりしてないか及び夜間の照明確認。」

## 交流活動

＊ひとり暮らしの高齢者の方々と

の会食会及び茶話会の開催。～27町内会が申請。

一例～「桃の節句のおひな様を飾り、高齢者を招待して会食をする。」

＊高齢者と子供の集いの開催。～17町内会が申請。

一例～「児童公園にて焼き肉をして、その後で子供達とゲームを行った。」

## 福祉活動

＊ひとり暮らしの高齢者宅の除排雪活動。～36町内会が申請。

一例～「要援護者の内、町内会長に除排雪の要請があったものに対して、玄関から公道までの除雪支援。」

＊地域での景観づくり活動。～38町内会が申請。

一例～「環境美化、整備を実施、ゴミカゴのまわりの美化整備につとめている、ペンキ塗りなど」

＊町内会館を利用してのふれあいサロンづくり。～19町内会が申請。

一例～「寄せ鍋をつくり、食べながらの交流を行い、カラオケやトランプ、囲碁を楽しみ親交を深めた。」

＊入浴・外出支援。～20町内会が申請。

一例～「スイミング教室への呼びかけ、実行。地元の流山温泉へ不定期に誘い実行する。」

## 健康づくり活動

＊地域での軽スポーツの実施。～18町内会が申請。

一例～「春と秋健康づくりのためパークゴルフを実施しています。」



本町西部町内会 敬老会

## 介護予防活動

＊介護教室の開催。～4町内会が申請。



本町中通り町内会 清掃活動



松の木町内会 入浴・外出支援



川尻親交会 介護教室



本町町内会 茶話会



本町駅前町内会 介護教室

一例「外部の支援による専門的な介護に関する実践的な勉強会の実施。」

### 啓発・広報活動

＊地域ごとの福祉だよりの発行。33町内会が申請。

一例「定期的に町内会報を発行して情報の伝達・安否確認を行った。」

### 平成25年度 一部改正しました。

今年度も、6月1日現在で、昨年同様48町内会から申請をしていただき、各町内会で支え合いを目的に、実情にあった取組を計画され、活動の輪が広がってきております

これまでの実績・皆さんからのご意見など参考に今年度、一部ではありますが金額の増額や、改正がありました。

#### ◎交流活動

◆ふれあいサロン(茶話会含む)：福祉活動から移行し増額。

#### ◎介護実習活動

◆介護教室の実施：活動名変更し増額。(H25年度パンフ参照)

さらに多くの町内会に利用していただきたいと考えておりますので、申請ご検討中の方、ご不明な点などございましたら、お気軽に問合せしていただきたいと思っております。

### 除雪機貸出事業

地域要援護者支え合い事業の一環として、お



ととしから始まった除雪機貸出事業、昨年度は、新たに6台増えて、計12台になりました。

「ロータリー式「飛ばすタイプ」10台、ブレード式「押すタイプ」2台」12町内会からの申請があり、ほぼフル稼働しました。諸事情により、利用しなかったところもありましたが、「快調に使えた」、「次年度は小さいタイプの方が良い」、「馬力の強い方が良い・2台でできれば借りたい」など、さまざまなお声が聞かれ、各町内会では、今後も冬場の除雪時には、高齢者宅の通路確保などに便利なものになると思われます。今年度(平成25年度)についても、さらに台数が増える予定をしています。

### より和の会 精神障害者回復者クラブ



「和の会」は会員、賛助会員をあわせて10人のメンバーで活動しており、中には体調不良で長期間休んでいる会員もいますが、現在は数名が毎週水曜日に集まり近況や、病気等のことを話し合っています。

会では、テレビゲームのwiiを使って、体調管理や、軽い運動を行っていますが、最近では、その中のボーリングゲームを通して、大きな声で喜んだり、笑ったり、少しずつ、社会復帰にむけ自身を取り戻しています。

この春から賛助会員として「訪問看護ステーションかがりの杜」理事長の竹村弘子氏が加わっていただきました。様々な相談ができるようになり、益々会は充実してきました。

竹村理事長は、「地域には、まだたくさんの支援を必要としている方がいます。その方々の声を拾い、少しでも社会復帰のお手伝いをして、地域に貢献したい」と、おっしゃっていました。

### ふれあいベンチ



長かった冬も身を潜み4月16日、ボランティアさん達によるふれあいベンチのペンキ塗りが行われました。

32台のベンチが久しぶりのお日様を浴び、ボランティアさん達がペンキにまみれながら皆さんに気持ちよく利用していただけるように細かいところまで塗っていました。

年月と共に老朽化が進み修繕しながら管理をしていましたが、残念なことに手荒く扱われるベンチもあり、破棄しなければならないものも出てきてしまいました。

今年も社協会員会費で修繕・設置されたベンチは、約半年の間バス停や坂道に設置され、多くの人のいこいの場となるようこれからも続けていきたいと思っております。

北海道社会福祉協議会では、他の制度を利用できない低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に対し経済的自立と生活の安定を目指すことを目的とし、以下のような資金を世帯ごとに貸付しております。詳細は七飯町社会福祉協議会にお問い合わせください。

資金名	主な資金の種類	貸付限度額	対象世帯、使途内容
総合支援資金	生活支援費	月額20万円以内 (単身は15万円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>低所得世帯で失業等により収入が減少し生活が困窮していること</li> <li>住居を有しているまたは住宅支援給付の申請を行い住宅の確保が確実に見込まれること</li> <li>失業給付、公的年金の受給、生活保護世帯は対象外</li> </ul>
	住宅入居費	40万円以内	
	一時生活再建費	60万円以内	
福祉資金	福祉費	種類ごとに設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者世帯などで一時的に必要なであると見込まれる費用の貸付</li> <li>給料などを紛失等、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に必要少額の金額を貸付。</li> <li>日常的に生活費が足りない世帯、生活保護世帯は貸付対象外</li> </ul>
	緊急小口資金	10万円以内	
教育支援資金	教育支援費	課程ごとに設定(月額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>低所得世帯で就学するのに必要な経費</li> <li>低所得世帯で入学時に必要な経費</li> </ul>
	就学支度費	50万円以内	
その他			

生活福祉資金貸付のご案内

6月6日(木)、老人クラブ女性部の皆さんが一生懸命縫っていた雑巾と笑顔を福祉施設や学校、保育園に届けました。

この雑巾配りは、平成9年から行っており16年も続く行事で、初めのころに比べ雑巾も使いやすいうよう、吸水性の良いきれいな布を使用し、使い手さんのことを考え、女性ならではの心づかいも見られます。

最近では雑巾を縫う人も徐々に減ってきてはいますが、使う人たちの笑顔と喜ぶ声を思い浮かべながら雑巾の枚数も減らさないよう皆さんが真心をこめて縫っているので、今年もおよそ1500枚もの雑巾を各施設に届けることができました。



藤城保育園にて

老人クラブ女性部 各施設へ雑巾寄贈

温かいご寄付  
ありがとうございました

皆様方からの心からの善意が今年2月13日から6月6日まで、総額424,600円となりました。ご寄付いただいた皆様、本当にありがとうございました。



平成25年			
2月13日	古木 節子	様	
	國下 豊潤	様	
3月 4日	ALIVE株式会社	様	
3月 7日	株式会社 大清水産業	様	
3月11日	函館方面遊技業協同組合	様	
3月26日	逸見 美貴	様	
4月12日	國下 豊潤	様	
4月19日	ディスコダンスサークル サルビア	様	
5月 2日	匿名	様	
5月22日	古木 節子	様	
	國下 豊潤	様	
6月 6日	クリオネ ディスコサークル	様	

多くの寄贈品  
ありがとうございました

使用済み切手、使用済みテレホンカード、リングブル、書き損じはがきなど有効に活用させていただきます。(敬称は省略させていただきます)

穂積華子、宮崎和子、岡川純子、渡部勝夫、千田サダ、長谷川和子、久米田敏那、斉藤洋子、小林茂雄、高橋瑞貴、寺沢久光、大中山コモン、下町喜楽会、道南福祉ネット、白石大侑、しおん会、渡辺雅照、阿部一絵、成田久子、七飯郵便局、京野一砂、パソコンサークル、高松巴、鈴木庸平、前田ミツ子、山本禎子、羽衣会、永原保雄、泉山ボス、小林茂雄、越後恵美子、横津会、白石里子、岩本美智子、銜青山石油、アップル温泉、米寿会、石井那香、中矢幹夫、藤城保育園、田中正美、澤出文子、佐藤沙羅、双六会、みどり保育園、あかまつ調剤薬局、澤出一美、石井沙弥、松の木睦会、大沼保育園、フェニックスコート、白山貞子、横山昔色、鶴野長寿会、地域活動支援センターつばさ、村上真由美、長山顯、宮崎ヨシエ、藤城長寿会、株ルネサス北日本セミコンダクタ、早坂ミツ子、磯野悦子、藤城築城農場一同、鳴川長寿会女性部、緑町長寿会、木村實、遠藤節子、岡勝江、正覚寺通り町内会、高部



平成25年1月19日から平成25年6月14日現在

福祉機器のご寄付

越田洋子 様	事務用品・福祉機器
濱口龍司 様	ベッド・車いす
本間 勲 様	福祉機器
折茂正勝 様	浴槽台・シャワーチェア
名畑千江 様	電動ベッド
渡島地区郵便局長夫人会 様	福祉機器

